



◎理事會開催

昭和十六年六月十二日午前十一時麹町區丸ノ内日本俱樂部に於て開會、水野會長、山田氏中川氏成田氏佐上氏谷口氏青山氏藤井氏牧氏金子氏の十理事川上氏外四幹事出席昭和十五年度一般特別歳入歳出會計決算報告、昭和十五年度一般會計剩餘金處分、昭和十五年度特別會計歳入不足額處理、昭和十五年度基本財産收支決算、昭和十五年度特別積立金收支決算、財産目錄の諸報告を爲し何も承認し以て昭和十六年度歳入歳出追加豫算の件及基本財産費消の件を附議し之れ亦可決し午餐を共にして散會す。

◎第二十二回定時會員總會並評議員會

六月十二日午後二時麹町區丸ノ内日本俱樂部に於て第二十二回定時會員總會並評議員會を開く、定刻に到り水野會長議長席に就き開會の旨を宣して先づ同一事件に付ては總會並評議員會を併合開會する旨を述べて議事に入る。昭和十五年度事務報告、昭和十五年度一般特別會計歳入歳出決算報告、昭和十五年度基本財産收

支決算報告、昭和十五年度特別積立金收支決算報告、財産目錄報告は満場一致之を承認す。以て評議員會に對し財産處理規程中改正の件、基本財産費消の件を附議し、之を可決す。以て總會並評議員會を開きて、昭和十六年度歳入歳出總豫算報告、昭和十六年度歳入歳出追加豫算報告を爲し何れも之を承認し、尙國道改良、北陸連絡、河底道開鑿等につき意見の交換を爲して散會す。

◎昭和十五年度事務報告

道路改良會昭和十五年度事務報告

道路功績者表彰に關する件

道路功績者表彰規程に據り道路の改良、維持、修繕並に道路愛護事業の普及等に關し功績顯著なる者に對し表彰したるは岐阜、大分、山形、高知、廣島、神奈川、靜岡、滋賀、佐賀、福島、和歌山、宮城、三重、沖繩、秋田、群馬、愛知、奈良、徳島の十九縣の道路工夫九十二名、個人四名、道路愛護會其の他二十六團體にして相當の成績を收めたり。

記念事業に關する件

紀元二千六百年並に道路法施行二十周年記念事業として(一)二十年以上道路行政事務勤務者四百七十七名、功勞顯著なる修路工夫九十名、功績顯著なる道路愛護團體六十九に對し其の功績を表彰し且記念品を贈呈し尙道路法の制定施行又は道路の改良整備に關し特に顯著なる功績者十九名を顯彰し且記念品を贈呈し有效な

る成績を見たり又(二)雜誌「道路の改良」記念號を刊行して道路行政概觀東京市外五大都市の道路發達概況、北海道道路發達概觀其他歴代土木局長、内務技監、交通政策研究者座談會等を掲載し世の好評を博したり。

役員の交迭顧問評議員委嘱に關する件

理事監事並に評議員の多數任期満了し多少の交迭を見たり、而して昭和十年九月以來缺員なりし顧問に内務大臣及橋本圭三郎、大橋新太郎、内藤久寛の三氏を推薦し會長は水野鍊太郎氏重任副會長に内務次官及中川吉造、山田英太郎兩氏之に任じ尙新に内務省地方局長、内務省警保局長、内務省計畫局長、陸軍省整備局長、海軍省兵備局長、鐵道省監督局長、鐵道省運輸局長、拓務省管理局長、朝鮮總督府内務局長、臺灣總督府交通局長、北海道廳長官、東京府知事、京都府知事、大阪府知事、神奈川縣知事、兵庫縣知事、新潟縣知事、愛知縣知事、宮城縣知事、福岡縣知事、東京市長、京都市長、大阪市長、横濱市長、神戸市長、名古屋市長に評議員を委嘱し會勢の擴張に備ふることとせり。

會員の狀況に關する件

昭和十五年度末に於ける會員數は一、〇〇五名、又賛助員數は三、四九一名にして前年度に比し會員は二二名を増加し賛助員は三三四名を減じたり。

雜誌發行に關する件

雜誌發行に關する件

機關雜誌「道路の改良」は記念號を發行したると通常會員の新加入に依り刊行部數を多少増加したるも賛助員の著しき減少に伴ひ總刊行部數の減少を見たるは寔に已むを得ざる所なり、然れども資料の選擇に意を用ひ時局に即應して内容の充實に努め以て所期の目的に副はんことを期したり。

◎財務處理規程中改正ノ件

財務處理規程第一條中「一般及特別會計」を削る。

參照

財務處理規程第一條

會長は毎會計年度一般及特別會計歳入歳出豫算を調製し年度開始前理事會の議決を経るものとす。

◎科學技術新體制確立に關する聲明書發表

五月二十三日午後五時三十分鐵道協會に於て全日本科學技術團體聯合會理事長より科學技術確立に關する聲明書を發表したり。

◎科學技術新體制に關する聲明

現下の國際情勢を通觀するに、世界の列強はその國防力の最高度に發揮するため、人智人力の限りを盡して居る。平和は元來人類の總てが希求するところであらうけれども、一度失はれた世界權力の均衡は相當の破壊と犠牲が拂はれるまでは回復しないであらう。しかも一時小康を得ることありとするも、結局この國際間の争闘は斷續的に永遠に繼續するものと覺悟せねばならない。争

朝のあとに残るものは世界生存の適者であり、潰滅し去るものは劣敗者である。蓋し國防力の基準高くして、その發達速度大なるものは勝ち然らざるものは敗れる。

凡そ國防力の基準が高いか低いか、その發達速度が大であるか小であるか、平たく言へば戰爭に強いか弱いかは、國防に對する政治上の配意が、國民生活の各分野にどの程度に廣く、深く浸潤して居るかによると思ふ。特に科學技術分野に對する浸透の度合が重大なる影響をもつことは前歐洲大戰に於て吾人が見聞せしところである。今次歐洲大動亂に於て獨逸が展開する驚嘆すべき電撃力に看取し得るところである。我國も亦滿洲事變に於て支那事變に於て、屢々偉大なる電撃的戰果を收め現に收めつつある。これ素より萬邦に冠絶する日本精神が、或は軍國將兵の忠勇義烈に、或は統後國民の至誠奉公に顯現發揚せられた結果に外ならなけれども、敵國民の科學技術的素養著しく低く、敵軍の科學技術的裝備が甚しく劣弱であることを看過してはならない。

今我國の科學技術水準と、獨、米のそれを比較するに遺憾ながら我が低くして、彼等の高きを認めざるを得ない。更にその發達程度たるや我がの緩慢にして彼等の快速なるを是認せざるを得ない。即ち彼我がの距離は刻一刻と増大するばかりである。由來大和民族は八紘一宇の大理想を天が下に宣布するの大使命を有して居る。然りとすれば現在の緩行列車にこのまま乗りつづけて果して

この大使命を達成することが出来るであらうか。よろしく此際斷乎として、彼に優る快速列車を用意し、これに乗り換ゆるの要緊切なるものがあると信ずる。これがためには、線路構造の強化、機關車の改造は勿論、鐵道運営の組織をも全面的に再編成しなければならぬ。これ科學技術の新體制が要望される所以である。

元來我國の科學技術水準が低いのは、我國の文化的生活の出發が歐米に比し、遙かに立遅れたに拘らず、常に彼と同一文化水準の起居を營まんと焦慮した結果、我國の文化が歐米模倣、歐米依存に終始したことに、その根本の原因が伏在する。換言すれば我國の科學技術の水準は大地に立脚せない水準である。従て一朝歐米に模倣するの連鎖を斷たれ、歐米依存の糧道を封鎖せられんかこれが維持すら困難を感じることは當然である。而して今や、資源的に歐米依存を斷たれ、模倣の機會は刻々と遮蔽されて居る。ここに日本の性格を有つ科學技術の創設、育成が強度に且つ急速に要請される理由があるのである。然らば日本の性格を有つ科學技術とはどんなものであるか。

- 一、日本民族の勢力圏に生成賦存する資源を以て
 - 二、日本民族に適應する環境を造營し
 - 三、日本民族の生活力を増強し
 - 四、日本民族が世界に雄飛するに足る文化を建設する
- に必要な科學技術である。

この目的を達成するためには、又當面の急を救済するために、過般新聞紙によつて企畫院案なりとして傳へられた。科學技術新體制確立要綱に盛られた様々な項目は一つとして緊要でないものはあるまいと思ふが特に、

一、基礎研究の能率發揮と、これが工業化研究を振興するに必要な諸方策

二、大東亞共榮圈資源環境の科學的調査並に總力戰體制に緊要なる技術に對し、劃期的躍進目標を與へ、これを計畫期間内に實現せしむるに必要な諸方策

は先以て着手すべき重大項目だと信ずる。更に之等諸方策の實現に併進して展開すべき運動は、國民の日常生活に科學技術精神を浸潤せしむることである。如何に優秀なる苗種と雖も、荒蕪地に於てこれを生成、進化せしむることは無理である。卓越せる科學技術は必ずや、これを發芽せしめ、絶えず榮養を補給する温床がなくてはならない、この意味に於て國民生活そのものを新科學技術の好適温床たるが如く、開拓し施肥することが絶対に肝要だと思ふ。

さて然らば、上述の如き新しき科學技術の振興が現在の官廳組織を以て達成し得るものであらうか。これが收穫の極めて緊急なる國家の現状に鑑みその業務を専念推進するに必要な行政的並に研究的強力國家機關が絶対に必要だと確信する。

全日本科學技術團體聯合會は以上の見地に於て日本的性格を有つ新科學技術の確立に挺身協力するの用意あることをここに聲明する。

昭和十六年五月二十三日

全日本科學技術團體聯合會

理事長 長岡半太郎

◎港灣協會總會

第十四回港灣協會總會が六月十五日鐵道協會々館に於て開かれた。水野會長以下各役員出席、小川鐵相、陸軍、海軍、内務、遞信農林の各代理者地方側代表約九百名出席、先づ宮城遙拜、默禱をささげ、以て會長の挨拶、各大臣の祝詞あり、各府縣より提出の百六十一議案の討議あり、何れも之を議決し午後一時半散會す。◎六月二十二日午後一時福山市縣立福山高等女學校に於て山陽國道改良工事起工式が舉行された。

◎内務省土木試驗所談話會

第二百二十回技術談話會話題

昭一六、五、三〇 午後一、三〇—三、三〇

一、試驗所報告第六〇號發表の試驗結果に對する講演

(試驗所報告を配布し之に就きて行ふ)(各三〇分)

1、鎗裝コンクリート版に及ぼす氣象作用の影響(1)

2、水理模型實驗の意義並にその相似律と相似限界に就いて

佐藤 技師

3、營口模型試驗報告

松尾 技師

二、最近の内務省直轄工事に使用せるセメントの強度低下の趨勢

(三〇分) 福島 技師

第二百二十一回技術談話會話題

昭一六、六、一三 午後一、三〇—三、三〇

一、軸應力を考慮せる撓角撓度公式

佐藤 技師

二、コンクリートの透氣性に關する試験(第2報)

池田 技師

三、水理模型實驗の意義並にその相似律と相似限界に就いて

佐藤 技師

四、非常時の土木工事の報告に就て、品川臺場水域その他を回顧

藤井 技師

技術談話會前同講演要旨

内務省土木試驗所

第二百十九回(昭和十六年五月十六日)

一、鐵筋コンクリート床版の載荷試験並に之に基く設計示方

池田 技師

昭和十四年内務省土木局にて制定する鋼道路橋設計示方書案

に従ひ、第一種自動車荷重(後輪五・二噸)により設計せる四

邊自由支持、支間一・八米の二方向に主鐵筋を有する正方形床版に就き載荷試験を行つた結果は、

1、版中央の撓みは、五・二噸で〇・六二耗にして計算値の約

二倍、七・五噸で〇・一噸にして計算値の約四分の一。

2、龜裂荷重約六噸、破壊荷重二四・六噸。

3、最初に龜裂を生じた荷重は略算と良く合致し、破壊時に於

けるコンクリート及び鐵筋の應力の檢算の結果も實際と大體

合致する。

依つて本床版は實用上十分役立ち得、従つて上記設計示方

書案に従つて設計せる床版は十分安全である。

二、コンクリートの熱的性質に關する研究(第二報)

島田 技師

コンクリートの構成要素の一なるセメントペーストの溫度傳

等率の値を明かにせんと本邦産セメント二〇種に就き過渡法に

より實測せるもので溫度傳等率 (K₁₀) と空隙率 (s) とて關

係並に含水による影響を明かにせるものである。尙セメントペ

ーストの如き組織構造を有する材料の此種特性をも推論せんと

實驗結果を基率とし二三の實驗公式を得たるものに就き説明

す。

三、那珂川河口の漂砂に就いての實驗

本間 仁

先に行つた幾何學的形狀の模型を用ひた場合の河口附近の漂

砂に關する實驗的研究の實際上の一例として茨城縣那珂川河口の漂砂と河口に築造さるべき導流堤の影響等を知るため、縮尺を水平二千分の一、鉛直四百分の一とした模型に三時間連續して波を送つて實驗した結果。

漂砂に對して最も有效な作用を持つてゐるのは右岸の導流堤であつて、之を更に延長すれば航路水深の維持に有效であり、右岸の防波砂堤は特に河川流量の少い時に航路及び砂洲の安定上必要である等を明かにした。

四、戰時戰域の道路に就て

山田 技 師

前歐洲大戰に於ける Verdun 後方の運輸交通狀況を述べ所謂「神筆道路」の效果を明にし之等の結果より戰時戰域に於ては(一)平時に於て交通網を整備し、(二)道路の構造を適當ならしめ且(三)交通の統制を計る必要があることを説き且佛國の經驗による軍用道路の構造示方を略報した。

◎近刊圖書雜誌 (寄贈交換)

○地方行政 (日支版六月號)

○鐵道と研究 (第二一卷五號)

○清和 (第八卷五號)

○都市問題 (第三二卷六號)

○觀光 (五月號)

○鐵道軌道經營資料 (五、六月號)

(壺田修氏) 帝都高速度交通營圖法解説)

○都市公論 (四月號)

○東大陸 (六月號)

○水利と土木 (五月號)

○大阪商工會議所月報 (第四〇八號)

○自警 (五月號)

○警察協會雜誌 (六月號)

○企畫 (第四卷一號)

○電氣通信學會通信 (第二四一八號)

○法律特報 (第一三卷六號)

○土木學會誌 (第二七卷五、六號)

○土木工業 (第三卷五號)

○交通新體制 (日本交通協會)

○列國資源概要 (第五號) (企畫院)

○土木試驗所報告 (第五九卷六號)

○斯民 (六月號)

○土木 (六月號)

○セメント界彙報 (第三九九號)

○港灣 (第一九卷六號)